

①学校名:	聖路加国際 大学(私立)	②所在地:	東京都中央区明石町10-1			
③課程名:	認定看護管理者ファーストレベルプログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成17年1月31日	
⑥責任者:	教育センター長 岸田 明博	⑦定員:	100	⑧期間:	5週間	
⑨申請する課程の目的・概要:	看護管理者の養成を目的としてプログラムであり、夏季に集中的に履修することにより効果的な学びと就業先への負担の軽減を考えたプログラムである。「深くて身になるファーストレベル」を掲げ、日本の社会構造が大きく変化している今、看護管理者には「深い考えに基づく問題解決能力」と「流されずに創り出す看護の楽しさ」を体感するために、TBL(team-based learning)やグループディスカッションを中心にカリキュラムを構成している。また、公益社団法人日本看護協会が認定する教育機関となり、認定看護管理者ファーストレベルカリキュラム基準に基づき実施している。					
⑩4テーマへの該当の有無	無	⑪履修資格:	<ul style="list-style-type: none"> ・大学受験資格のあるもの ・日本国の看護師免許取得後、実務経験が通算5年以上あるもの ・管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することを期待されているもの 			
⑫対象とする職業の種類:	看護師					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度			(得られる能力) <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる能力 ・組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる能力 ・看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる能力 		
⑭教育課程:	ヘルスケアシステム論Ⅰとして地域医療連携システム作りや社会保障制度の枠組みと保健医療福祉政策を1単位(15時間)、組織管理論Ⅰとして組織マネジメントや看護管理者の倫理を1単位(15時間)、人材管理Ⅰとして、人材育成に必要なコミュニケーションや人材育成の基礎知識・方法や働き方のマネジメントを2単位(30時間)、資源管理Ⅰとして看護実践における情報管理や医療における経営資源と管理を1単位(15時間)、質管理Ⅰとして看護サービスマネジメント論やQuality Indicatorと医療の質管理を1単位(15時間)、統合演習Ⅰとして事例を用いた問題解決演習を1単位(15時間)で看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識・技術を養成する。					
⑮修了要件(修了授業時数等):	<ul style="list-style-type: none"> ・出席時間が各教科目規定の4/5以上であること ・全ての教科目について、筆記試験を受けている、または、課題レポートを所定の期日までに提出していること ・すべての教科目の成績がC(60点)以上であること 					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書(学校教育法第105条に基づく)					
⑰総授業時数:	105 時間	⑱要件該当授業時数:	96時間	該当要件	双方向実務家	⑲要件該当授業時数/総授業時数: 91%
⑳成績評価の方法:	出席状況および筆記試験またはレポート審査の成績による総合評価					
㉑自己点検・評価の方法:	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する ・公益社団法人日本看護協会の制度委員会による定期的な審査及び視察 ・科目評価アンケートを実施し、認定看護管理者運営委員会にて検証・評価を行っている。 ・結果については、HP等を利用し公表している 					
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	<ul style="list-style-type: none"> ・修了生に対し、動向調査をおこなっている ・結果については、HP等を利用し公表している 					
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 学内教員および付属施設の看護管理者と学外委員(看護管理者)より構成する認定看護管理者運営会議を設置し、学外委員に実務家や有識者を参画させて、企業等の意見を取り入れて教育課程の編成や授業方法等の改善を行っている。</p> <p>(自己点検・評価) 公益社団法人日本看護協会の制度委員会による定期的な審査及び視察を受審するほか、教育課程の編成等に関する委員会(認定看護管理者運営会議)を設置し、委員会メンバーには学内教員および付属施設の看護管理者と学外委員(看護管理者)より構成する認定看護管理者運営会議を設置し、学外委員に実務家や有識者を参画させて、企業等の意見を取り入れて教育課程の教育効果等を自己点検・評価している。</p>					
㉔社会人が受講しやすい工夫:	・集中講義の実施、・学習支援システム(manaba course2)の導入による自宅学習環境の整備					
㉕ホームページ:	(URL)http://edu-sk.luke.ac.jp/first/index.html					

事務担当者名:	青野 真弓	所属部署:	聖路加国際大学 教育センター
連絡先:	(電話番号) 03-5550-2436 (E-mail) nintei@slcn.ac.jp		